

2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年12月2日

上場会社名 Jーピーブル
 コード番号 7865 URL <https://www.people-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役 (氏名) 桐 渕 真人
 問合せ先責任者 (役職名) IR担当 (氏名) 飛田 留美子
 四半期報告書提出予定日 2021年12月3日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3862-2768

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年1月期第3四半期の業績(2021年1月21日～2021年10月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	3,596	—	243	—	242	—	168	—
2021年1月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	38.29	—
2021年1月期第3四半期	—	—

(注)当社は、2021年1月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2022年1月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため2021年1月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期第3四半期	2,820	2,143	76.0	489.98
2021年1月期	2,674	2,244	83.9	513.06

(参考)自己資本 2022年1月期第3四半期 2,143百万円 2021年1月期 2,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2022年1月期	—	0.00	—		
2022年1月期(予想)				—	—

(注)2022年1月期の配当につきましては、通期業績見通しと連動して勘案する方針でありますため、年末商戦状況を見極めた上で期末配当予想を発表させていただきます。

3. 2022年1月期の業績予想(2021年1月21日～2022年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,283	18.0	426	△13.2	423	△11.0	262	△20.2	60.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社の通期業績は、年末商戦期間(10-12月)の業績に大きく左右されることから、毎四半期時に直近で見通せる次期四半期までの予想を掲げさせていただいております。次期四半期は第4四半期となることから、当期通期での予想を掲げております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年1月期3Q	4,437,500 株	2021年1月期	4,437,500 株
2022年1月期3Q	63,279 株	2021年1月期	63,279 株
2022年1月期3Q	4,374,221 株	2021年1月期3Q	4,374,221 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	5
【第3四半期累計期間】	5
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
（セグメント情報等）	6
3. 補足情報	6
カテゴリ別販売の状況	6
①第3四半期累計期間売上高	6
②新発売商品及び主なリニューアル商品	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を引き続き受け、依然として先行き不透明な状況が続いておりますが、当四半期後半には緊急事態宣言も解除され、次第に外出の機会も増え始めました。しかし、当玩具業界における消費に対する影響は限定的と見られます。前事業年度に新型コロナウイルスの感染が拡大したときに経験した特需は当期期初の時点で無くなっており、既に玩具などの消費者の購入意欲は平年に近い程度に落ち着いている様子が見られます。

このような環境の中、当社では米国での急激な「Magna-tiles」の需要拡大により、大幅な売上増となりました。また国内販売において、玩具の主要カテゴリーである乳児・知育玩具カテゴリーで既存の定番品の売上が堅調に推移したことに加え、新商品の「ピタゴラス 知育いっぱいボールコースター」の人気急上昇も売上増の要因となりました。

また、製造国における材料不足や、中国国内での電力供給制限が委託工場の稼働に大きく影響するといった逆風はありましたが、売れ筋の定番品の欠品を極力回避できるよう、在庫補充を早めに潤沢に準備する等したため、材料不足などのコロナ禍での今期特有の影響を最小限に留めることができました。

これらの結果、国内販売・海外販売総合で当第3四半期累計期間の売上高は、35億96百万円となりました。（ご参考：前年同期間個別売上比14.4%増）

売上増とはなったものの、利益面では、利幅の小さい海外販売の全体売上に占める割合が非常に大きかったこと、売上原価の上昇、国内外輸送コスト増、コロナ禍により休止していた店頭サンプルの陳列再開に伴いプロモーション費用を投じたこと、および中期的な新事業研究開発費の経費発生等に伴い売上に対して利益幅が縮小しました。

この結果、当第3四半期累計期間の営業利益は2億43百万円となり、経常利益は2億42百万円、四半期純利益は1億68百万円となりました。（ご参考：前年同期間、個別四半期純利益比22.4%減）

なお、2021年5月24日付けで公表しましたとおり、米国の子会社People Toy Company Inc.の清算に伴い、2022年1月期第1四半期より非連結決算へ移行しました。このため、第3四半期累計期間においても前年同四半期については四半期連結財務諸表のみ作成しているため、前年同期間比は記載しておらず、文中の（ ）内はご参考として記載させていただきました。

(カテゴリー別の状況)

・海外販売

世界的な外航コンテナ不足の影響で第2四半期までは出荷スケジュールの変更を余儀なくされ、ずれ込んでいた米国向け出港が当第3四半期会計期間に集中し、前年同期間を大きく超える実績となりました。「Magna-Tiles」の新製品『Animalsシリーズ』は初動好調など、セリアアウトも引き続き好調を維持しております。欠品による機会損失が生じないように、引き続き出港が計画的に進行できるよう対策を講じてまいります。

・乳児・知育玩具

当第3四半期には、実店舗への集客も次第に回復してきている様子ですが、未だ、新規性のある玩具よりも安定商材であるロングセラー定番商品が流通には期待される傾向は続いております。当社商品でも「ピタゴラスシリーズ」は今年発売の新製品『知育いっぱいボールコースター』などが牽引し好調を維持、『いたずら1歳やりたい放題』なども安心商材としてクリスマスむけ重点商品として流通の期待を集めています。

・女兒玩具

想像力を引き出すDIYおもちゃ「ねじハピ」シリーズでは、当第3四半期も人気キャラクター「すみっコぐらし」とのコラボ商品『すみっコぐらしメガDIYセット』を発売し、早々に完売となり注目を集めています。

抱き人形市場は依然として厳しい状況ではありますが、発売25周年を迎える「ぼぼちゃんシリーズ」では年間通したアニバーサリーキャンペーンTVCMを放映するなど、クリスマス商戦にむけての認知促進活動を忍耐強く行っていく計画です。

・遊具・乗り物

当第3四半期、当カテゴリーにおいては前年のようなコロナ特需による一時的加熱状態は落ち着いております。10月度にクリスマス商戦にむけて「ケッターサイクルシリーズ」に新色が2色（14インチ コスモスピンク、16インチサファイアブルー）が加わりました。発売前からカタログにて客注が入るなど、好調な走り出しを見せています。

・その他（育児・家具）

SNSを中心にしたプロモーションで妊娠中～産後の幅広い顧客層にアプローチし、ベビーバス「ラッコハグ」を中心に売り上げ増となりました。満足度の高い口コミが多いのも特徴です。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から1億46百万円増加の28億20百万円となりました。資産の部では、主に売上の増加に伴う売掛金の増加等で、流動資産が前事業年度末から1億31百万円増加し24億72百万円となりました。

負債では、流動負債で主に商品仕入に伴う支払手形及び買掛金等の支払債務の増加により、負債合計で前事業年度末から2億47百万円増加し、6億77百万円となりました。

純資産合計は、四半期純利益計上的一方、配当支払等により、前事業年度末より1億1百万円減少し21億43百万円となり、結果、自己資本比率は76.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想（2021年1月21日～2022年1月20日）

国内市場では、第4四半期も乳児・知育玩具を中心に堅調に推移する見通しであり、海外販売では、年始商戦に向けて「Magna-Tiles」の供給を切らさぬよう外航コンテナの確保に注力し、出荷する予定であります。それにより第4四半期会計期間も国内海外ともに前年同期を上回る売上見通しであることから、通期売上高予想は、前期比18.0%増の52億83百万円と、上場来初の50億円を超える見通しであります。

一方、収益面につきましては、材料費等仕入コストの上昇等による利益圧迫が当社の収益構造に急激な変化をもたらしたことから、売上総利益段階では前期並みに留まることが予想されます。現在、収益改善に向けて、様々な取り組みを検討しておりますが、当面のところ収益力の回復が最優先課題と捉えております。また、次年度以降には、当社独自の子育てに関する調査やアイデアを生かした新たな取り組みにより商品化することを目指しており、当期その先行投資もあったことから、営業利益段階では、前期比13.2%減の4億26百万円となる見通しです。経常利益は4億23百万円（前期比11.0%減）、当期純利益は2億62百万円（前期比20.2%減）の見通しです。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年 1 月20 日)	当第 3 四半期会計期間 (2021年10月20 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,097	975,672
受取手形及び売掛金	477,329	859,892
商品	401,460	522,947
原材料	1,298	2,221
未収消費税等	—	20,226
その他	44,418	93,245
貸倒引当金	△1,693	△2,038
流動資産合計	2,340,910	2,472,164
固定資産		
有形固定資産	48,655	88,409
無形固定資産	37,304	32,362
投資その他の資産	246,964	227,274
固定資産合計	332,923	348,044
資産合計	2,673,833	2,820,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	144,310	470,850
未払法人税等	125,210	65,317
その他	160,073	140,762
流動負債合計	429,594	676,930
負債合計	429,594	676,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,783,105	1,688,162
自己株式	△34,267	△34,267
株主資本合計	2,150,343	2,055,400
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	93,896	87,878
評価・換算差額等合計	93,896	87,878
純資産合計	2,244,239	2,143,278
負債純資産合計	2,673,833	2,820,208

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月21日 至 2021年10月20日)
売上高	3,595,814
売上原価	2,390,409
売上総利益	1,205,405
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	142,693
販売促進費	82,625
運賃	133,246
役員報酬	52,351
給料及び手当	112,034
退職給付費用	12,159
支払手数料	86,224
研究開発費	166,549
その他	174,612
販売費及び一般管理費	962,492
営業利益	242,912
営業外収益	
受取利息	11
受取配当金	1,420
その他	327
営業外収益合計	1,758
営業外費用	
為替差損	2,729
その他	0
営業外費用合計	2,729
経常利益	241,941
税引前四半期純利益	241,941
法人税、住民税及び事業税	60,896
法人税等調整額	13,535
法人税等合計	74,430
四半期純利益	167,511

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足情報

カテゴリー別販売の状況

① 第3四半期累計期間売上高の前年同期間対比 (個別業績)

(単位 千円)

カテゴリー名	2021年1月期 第3四半期 (自2020年1月21日 至2020年10月20日)	2022年1月期 第3四半期 (自2021年1月21日 至2021年10月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	905,122	1,023,678	113.1
女兒玩具	261,312	222,433	85.1
遊具・乗り物	619,955	520,902	84.0
その他(育児・家具)	97,630	123,771	126.8
海外販売	1,259,562	1,705,030	135.4
合計	3,143,581	3,595,814	114.4

(注)2022年1月期第1四半期より個別業績を表示しております。このため前年同期間についても個別業績(参考値)を記載しております。

② 新発売商品及び主なりリニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税込)
乳児・知育玩具	「握りたくなる魔法のわっか」 (シロにゃん・クロにゃん)	各 ¥1,320
	ノンキアラ良品「ウレタンマットの噛み心地 1人でマットります」	¥715
	ノンキアラ良品「本物そっくりのこだわり設計 ベビ推しスイッチ」	¥770
	ピタゴラスシリーズ「ピタゴラスBASIC 知育いっぱいボールコースター」	¥3,278
	同 「ピタゴラスBASIC 知育いっぱいボールコースターDX」	¥16,500
	同 「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい!ミニどうぶつえん」 3種	各 ¥2,420
	同 「ピタゴラスBASIC 知育いっぱい!はたらくくるま」	¥5,060
	「いつかは立っちで…遊びたイッス」	¥7,128
	お米シリーズ「お米のなめなめスプーン」	¥1,650
	同 「お米のはじめての食育おもちゃセットいろどり」	¥4,290
	同 「お米のつまきはじめてセット白米色」	¥9,900
女兒玩具	ねじハピシリーズ「ねじハピメガDIYセット」	¥6,050
	同 「DIYコーデパーツ」 7種	¥660~¥1,320
	お人形「マシュマロぽぽちゃん ひつじさんスタイつき」	¥3,608
	お人形セット「ぽぽちゃん×SNOOPY」	¥6,380
	「ぽぽちゃんのおしゃべりトイレ」	¥2,530
	年末限定「ねじハピ すみっこぐらし メガDIYセット」	¥7,150
	「ねじハピ DIYコーデパーツ」 (ネオンピンク他計6色)	各 ¥660
	年末限定「マシュマロぽぽちゃんお世話デビューセット」	¥6,600
	年末限定「ぽぽちゃんデビューパーフェクトセット」	¥11,000
遊具・乗り物	「キックル」 2色 (フレンチブルー・メタリックレッド)	各オープン価格
	数量限定「ケッターサイクル 14インチ コスモスピンク」	オープン価格
	数量限定「ケッターサイクル 16インチ サファイアブルー」	オープン価格
	「指先から全身まで知育アスレチック」	オープン価格
その他 (育児・家具)	「テディハグ プティ」 (オフホワイト、アイボリー)	各オープン価格
	「テディハグ グランシング+」 (オフホワイト、アイボリー)	各オープン価格
	「ラッコハグ プラス リラクシング ラベンダー」	¥4,818